

「熱い心」 ～日本一熱く、絆強き学校への道～



床を磨けば心も光る! ～自治力発揮週間・拭き掃除強化週間!～

【心を磨く】

人の心は、そう簡単に磨けるものではありません。ましてや、心を取り出して磨くことなどということはできません。心を磨くには、とりあえず、目の前に見える物を磨き、きれいにすることです。とくに、人のいやがるトイレをきれいにすると、心も美しくなる。人は、いつも見ているものに心も似てきます。 ～イエローハット創業者・鍵山秀三郎～

さあ、自治力発揮週間がスタートした。初日はどうだったかな?同時に今週は、美化委員会活動の「拭き掃除強化週間」でもあるね。ワックスがけに向けて日々の掃除の中できっちり床をふきあげ、磨いていこうという取り組み。意識して一生懸命に磨いていると、きっといつも以上に小さな汚れや傷に気がついたり、その一生懸命を毎日続けることで微妙な変化にも気づけることだろう。「拭き掃除」とは、「汚れを雑巾に移すこと」!このことを基本にしないと、ただ雑巾をすべらすだけ、『拭いたつもり』の掃除になってしまうね。そして、何より大切なことは、「一中無言清掃」は「何のために、なぜやるのか」ということをみんなで考えることだったね。「無言清掃」は手段の一つ。それを通して自分たちはどうなっているのか。自治力発揮週間の振り返りの重要な視点になりそうだね。

「もくもくと」「すみずみまで」
「ピカピカ」「時間いっぱい」

【掃除で磨く3つの力】

- ①自分ですべきことを考える力
- ②心の持久力
- ③仲間と協働する力

「いまだかつて、倒産した企業で、きれいに整然と掃除が行き届いていた会社はありません」とイエローハットの創業者・鍵山(かぎやま)さん。その通り学校だけでなく、業績が落ち込んでいた企業が掃除教育に取り組んだ結果再生に成功した例はたくさんあるそうだよ。それは床の汚れを取り除いているようで、実は心の汚れを取り除いているから。掃除がうまくなってくると、汚れた場所を積極的に探すようになる。見落とされがちな場所を考えるようになる。汚れが気になり始め、きれいにしたいと思うようになる。そして、掃除の力だけでなく、学力(仕事力)も高くなる。それは、物事への取り組み方の「基本」が身についてくるから、という人もいますね。なるほどね～。

英検の一中ここにあり! ～二次試験合格おめでとう～

第1回英検で準2級2人、3級2人が見事二次試験にも合格。素晴らしい。忙しい中でも挑戦心をもって、努力の成果を発揮。まさに「英検の一中ここにあり」を示してくれたね。

準2級	内田心彩・大村侑愛
3級	金山結華・戸高瑞翔

第2回英検は10/8(金)予定。何度でも挑戦できるのが英検。「できるか・できないか」ではなく、「そうなりたいかどうか」で挑んでいこう。それが**一中魂!**

【ちょっとうれしい話】 自転車に乗った一中生があいさつを元気良くしてくれてうれしかった。横断歩道を渡る一中生が止まった車の自分に向かって会釈をしてくれてとても気持ちがよかった。地域の方からまたうれしい話を聞いたよ。いいね～。もっともっと地域に誇れる学校へ。

